

施策評価管理シート

2015(平成27)年7月作成

| 担当部局名 | 部長名 | 連絡先 (担当室名) |
|----------|-------|-------------------|
| 教育委員会事務局 | 高嶋 正広 | 63-7100 (市民スポーツ室) |

| | | | |
|------|------|---|-------------------------|
| 施策体系 | 政 策 | 4 | 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし |
| | 基本施策 | 2 | 豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進 |
| | 施 策 | 2 | 生涯スポーツ |

1. 施策の基本方針 Plan

- ・スポーツ関係団体や地域との連携を図り、生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組みます。
- ・ニュースポーツの普及やイベントの開催、スポーツ・レクリエーション施設の整備、民間施設の活用等も含めた整備計画を策定し取り組みます。

2. 目標

○重点目標 Plan

- ・「いつでも、だれでも、いつまでも」を基本方針に据えて、生涯スポーツをはじめ、競技スポーツや障がい者スポーツの普及促進を図るなど、市民の皆様が日常的にスポーツに親しめる環境づくりに取り組みます。
- ・総合型地域スポーツクラブ創設のための支援を行い、地域におけるスポーツ活動の拠点づくり並びに地域交流の場を提供し、積極的に地域スポーツの振興を図ります。
- ・体育施設の整備計画策定と整備財源確保に取り組みます。
- ・閉校となった学校施設を、社会体育施設として有効活用できるよう条件整備を進めるなど、市内のスポーツ活動が一層充実するよう取り組みます。

○目標達成に向けた課題 Plan

- ・スポーツが市民の日常生活において身近な存在となり、生涯を通じてスポーツの役割がますます重要になる中、市民ニーズに的確に対応した事業推進や指導者の養成等を、関係団体と連携を図りながら計画的に推進する必要があります。
- ・近年の子どもの運動離れにより、運動する子、しない子の二極化が顕著になる中、将来にわたって基礎体力を維持向上するためにも、幼少期、青少年期のスポーツへの関わりが必要となっています。
- ・総合型地域スポーツクラブについては、新規のクラブ創設はもとより、継続した活動が可能な環境づくりが必要です。また、クラブ間の情報交換や研修の場の設置等が必要となってきます。
- ・体育施設については、老朽化による大規模な改修や利用者のニーズに対応した整備が必要となっており、施設の命名権の導入など新たな財源確保にも取り組んでいるところですが、改修・整備に伴う財源の確保が不可欠です。
- ・閉校となった3小学校の体育施設については、地域及び関係者との連携を図り、位置づけを明確にする必要があります。

<行政評価委員会からの意見>

- ・生涯スポーツ社会の実現に向け、総合型スポーツクラブの再構築に向けた具体的な取組を進めていく必要がある。

○施策指標 (目標) 及び達成状況 Plan Do

| 施策指標 (目標) の内容 (単位) | | 現状値 (H20) | 2011 (H23) | 2012 (H24) | 2013 (H25) | 2014 (H26) | 2015 (H27) | 進捗率 |
|----------------------------|----|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 週に1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合 (%) | 目標 | - | - | 40.0 | - | - | 43.0 | 77% |
| | 成果 | 36.5 | 40.6 | 38.0 | 39.3 | 41.5 | | |
| スポーツリーダーバンク利用回数【延べ値】 (回) | 目標 | - | - | 125 | - | - | 260 | 15% |
| | 成果 | 15 | 15 | 39 | 45 | 51 | | |
| 市民1人あたりの年間体育施設利用回数 (回) | 目標 | - | - | 5.5 | - | - | 6.0 | 0% |
| | 成果 | 5.0 | 5.1 | 4.8 | 4.1 | 4.4 | | |

3. 取組内容

○課題解決への取組内容 **Do**

- ・運動しない子どもも気軽に参加できる種目として、ドッジビーの教室（2回・延べ49名参加）や大会（1回・151名参加）をスポーツ推進委員が中心となって開催し、幅広い年齢層の方に体を動かす楽しさを実感いただき、仲間とともに取り組めるスポーツに触れる機会の提供に取り組みました。
- ・世界選手権大会応援事業と位置付けて、サッカーワールドカップに出場した山口蛍選手（名張市出身）をパブリックビューイングで応援し、子どもをはじめ多くの市民に夢や希望を与え、スポーツへの関心向上に資する機会を提供しました。
- ・総合型地域スポーツクラブを創設するため、スポーツ推進審議会に小委員会を設置し、今後のクラブのあり方について検討を進め、総合型地域スポーツクラブ育成支援指針を定めました。この指針に基づき2団体の認定を行いました。
- ・地域スポーツの拠点として活動できる施設設備が求められています。このことを踏まえ、閉校学校の体育館及び運動場を社会体育施設と位置付け、条例等を整備しました。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>

- ・総合型地域スポーツクラブの育成支援指針を策定し、地域を拠点としたスポーツ活動が可能となる仕組みづくりを行い、2団体の認定を行いました。

○地域等との連携、協働に向けた取組 **Do**

- ・ひなち湖マラソン、青蓮寺湖駅伝においては、実行委員会組織に地域関係者の参画をいただき、協働して大会運営を行っています。また、サッカーワールドカップのパブリックビューイングにおいても、地域の方々に企画運営に参画いただき、すべての会場が満員となりました。
- ・総合型地域スポーツクラブ育成支援指針において、地域住民との連携を義務付け、認定の際の審査基準に盛り込んでいます。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 5 事業)

Do

Check

| 事務事業シート番号 | 事業名・担当室名 | | 事業費 (単位：千円) | | 担当室による評価 | | | 部局による評価 | |
|------------------------|-------------------|---------|----------------|--------|-------------|-----------------|----------------|-----------|-----------|
| | | | | | 事務事業の施策への貢献 | 地域づくり組織等との連携・協働 | 事務事業シートでの今後の方向 | 施策達成への貢献度 | 施策達成への重要度 |
| | | | | | | | | | |
| 1173 | スポーツ活動振興費 | 市民スポーツ室 | 8,842 | 8,645 | B | 実践している | 継続(改善) | A | A |
| 1312 | スポーツ世界選手権大会市民応援事業 | 市民スポーツ室 | - | 447 | B | 実践している | H26完了 | B | B |
| 5047 | 武道交流館いきいき管理費 | 市民スポーツ室 | 11,884 | 11,743 | B | 実践している | 継続(現行) | B | B |
| 5050 | 体育施設管理費 | 市民スポーツ室 | 34,253 | 35,906 | B | 実践している | 継続(現行) | B | B |
| 6120 | 保健体育総務一般経費 | 市民スポーツ室 | 5,199 | 4,303 | B | 検討している、今後可能性がある | 継続(改善) | A | A |
| 合計(単位：千円) | | | 60,178 | 61,044 | | | | | |
| 小計(うち、一般会計分) | | | 60,178 | 61,044 | | | | | |
| 小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分) | | | 0 | 0 | | | | | |

5. 部局による施策評価

Check

評価

計画どおり事業推進

成果・評価理由

- ・近年、運動する子ども、しない子どもの二極化が顕著になっている中で、運動しない子ども等に、スポーツへの関心を高める機会を提供できました。
- ・スポーツ世界選手権大会市民応援事業により、市民のスポーツへの関心やスポーツを実践する機運の高揚に取り組みました。また、青少年に夢や希望を与える機会の創出につなげました。
- ・体育施設や学校開放の利用状況については、年間43万人の利用者(前年比7.3%の増加)があり、施設利用の向上が図れました。
- ・総合型地域スポーツクラブ創設支援指針を定め、地域におけるスポーツ活動の基盤となる2団体の認定を行いました。

6. 今後の施策の方向性、改善方法 **Action**

- ・生涯にわたって心身ともに健康に過ごせるよう、すべての年齢層で取り組めるスポーツの機会を提供していくことが重要であり、施策テーマである「いつでも・だれでも・いつまでも」を理念に事業を展開していきます。
- ・活動の基盤となる各種スポーツ団体の育成、指導、強化に引き続き取り組みます。
- ・子どもをはじめ多くの市民が夢と希望を抱き、スポーツに取り組む意欲を育む契機づくりや、スポーツへの関心を高める機会の実現、競技力の向上に資するため、トップアスリートのプレーを身近に感じることでできる機会の創出に努めます。
- ・生涯スポーツの振興普及の拠点となる地域総合型スポーツクラブが、市民の身近な所で継続して活動できるよう創設・活動支援に取り組みます。
- ・総合体育館をはじめ、体育施設の多くは建設後30年以上が経過し、老朽化が進んでいます。また、利用者のニーズに応じた施設整備が急務となっている中、計画的に安全で安心して利用できる施設整備に取り組みます。